

1 月 11 日 : VN 指数は横ばいで推移 (VN-Index +0.06%)

- VN 指数は朝方から買戻しが優勢となり、前日の終値から上昇して取引を取引を開始した。指数は 1,170pt 近くまで接近した。
- 多くのセクターで堅調な動きが確認され、特に金融セクター、食品・飲料、素材セクターは相場を支えた。
- しかし、後場には売り方が多く参入し、前場の上昇分を打ち消した。最終的に指数は昨日の終値付近まで後退した。
- 銀行セクターと不動産セクターは下落に転じ、相場の足を引っ張った。
- 銘柄別では 250 銘柄が上昇、221 銘柄が下落、115 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 16.9%減少し、17.2 兆ドンとなった。

VN30 指数も同様に横ばい (VN-30 +0.08%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、20 銘柄が上昇、7 銘柄が下落、3 銘柄が横ばいとなった。
- BVH (+3.70%)、POW (+2.19%)、BCM (+2.03%) が指数の上昇をけん引した。
- 一方、BID (-1.90%) と GVR (-1.85%) は下落した。

セクター・個別株の動き

- FRT (-0.81%) がモバイル・バーチャル・ネットワーク・オペレーターの提供開始を正式に発表した。半年以内にハードウェアとソフトウェアシステムへの投資を完了し、顧客に最高のサービス体験をもたらす。
- MSB (+3.08%) は 2023 年第 4 四半期決算を発表。総営業収入 5,399 億ドン (前年同期比+33%)、税引前利益 2,012 億ドン (同+90.5%) を達成した。これは主に、AFA 金融資産からの利益 (前年同期比+26.4%)、ブローカー業務からの収益 (同+26.2%) によるものである。

- 外国人投資家は 1,514 億ドルの買い越しとなった。最も買われた銘柄は STB (+0.17%)、HPG (+0.55%)、OCB (+1.71%) であった。一方で、FUEVFNND (+0.00%)、SSI (+0.59%)、PVD (+0.19%) が最も売られた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。